

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス すくすく		公表日		2024年11月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	十分に広いとは言えませんが、活動内容に合わせてスペースを確保しながら安心して子供達が活動できるように心がけています。	1フロアでスペースを広げることには限界がある。外に出て体を動かしたり活動に合わせた環境づくりが心かかります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	法令に基づいた人員配置を行っております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	できる限りバリアフリーな環境に近づけられるようご利用者様に合わせた環境作りを常に心がけております。	建物の構造上、完全にバリアフリー化することは難しいですが、バリアフリーに近い環境づくり、整備設備に努めます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	毎日の掃除、整頓、学習スペース、休憩スペース、遊ぶスペースと子供たちの特性、活動に合わせた空間づくりを努めております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	0	4	個別での対応が必要な場合は、カーテンで仕切りを作り対応している。	1フロアでスペースも限られているため、完全に個別の部屋や場所の確保が難しいのが課題である。カーテンを使って仕切りをし工夫して個室に近い環境づくりを行っていく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	職員全員で、毎日の業務における目標設定と振り返りを行っております。業務改善を意識した話し合いを引き続き積極的に行います。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	ご家族様に評価表のご記入いただき、その結果をもとに業務につなげられるよう職員で話し合っております。	全員にご記入していただけるまでには至っていないので改善が必要である。いただいた評価、ご意見をもとに職員で話し合い改善しよりよい支援に向け努めて参ります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	毎日の振り返りを行い、日々の業務改善につなげられるようにしている。よりよい支援に向けて、職員同士の意見交換、意識改善などの機会を怠らず継続して行う。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4	第三者による外部評価は実施していません。	今後は第三者の評価も取り入れていけるよう地域の関係機関などとの繋がりを目標としていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	月一の研修会を必ず行っております。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	内容は当事業所のホームページに掲載し、ご利用者様には都度ご説明させて頂いております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	ご家族様とのアセスメントを通して、成長のために必要なことを把握しひとりひとりの支援を考え計画作成に努めております。お子様の状態や成長に応じて柔軟な対応を心掛け、計画書作成、プログラムに随時反映していく。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	職員共通理解のもと、必要な支援だけを考えて計画を作成を行っております。引き続きご利用者様ひとりひとりに合わせた支援内容を職員間で考え、共有し支援を実施して参ります。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	職員間で共有のもと連携して、計画に沿った支援を心掛けて行っております。具体的な支援内容についても共有は必ず行い計画書をもとに支援し柔軟に対応できるよう心掛けています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	アセスメントをもとに集団、個別それぞれ考え支援を行っております。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	全ての支援について、必要とする項目を適切に設定し、具体的な支援を記載した支援計画書を作成しご家族様にも確認していただきそれに基づいて支援を行っております。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	職員全員で考える時間を設けプログラム作成を行っております。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	出来る限り曜日で固定しないようにプログラムを振り分けるようにしております。固定化したプログラムで安心感を持つお子様もいるため、お子様ひとりひとりに合わせた柔軟な対応も大切に支援を行っていく。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	個別活動、集団活動とを組み合わせた計画を作成し支援を行っております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	打ち合わせ、申し送りを行い、内容確認等を行った上で支援を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	0	4	就業時間の違いがあるため、終了後の打ち合わせは難しいですが、その日のうちに情報は共有し次の日に振り返りを行って共通理解を心掛けている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	記録をとり、よりよい支援に向けて検証と改善を行っております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	半年に1度のモニタリングを行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4	0	4つの基本活動を組み合わせた支援を心掛けております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	できた、わかった、やってみよう、やってみようという経験づくり、選択肢を増やして自己決定を育てるための支援を心掛けております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	担当者会議等に参加させていただく場合はよく理解した状況を把握した職員で参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	連携できるように体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	基本的に学校お迎え時の限られた時間になるが学校との情報共有はできるだけ密に行うよう心掛けております。担当者会議などが開催される場合は積極的に参加を行い密な情報共有を行っております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	情報共有と相互理解に努められるように心がけております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0	これまで情報を提供する事例はないですが、依頼があれば支援内容の情報を提供するようにさせていただきます。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	4	支援センターとの関わりはないのですが、機会があれば前向きに助言を行って頂き、研修にも参加させていただきたい。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	4	地域の他のこどもと活動する機会は設けてないですが、機会があればぜひ交流させて頂きたいと思っております。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	4	日常の業務があるためすべてに参加するのは難しいですが出来る限りは参加させていただいております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	疑問に思ったことなどは、保護者様に連絡させていただき、状況把握し日々の課題について共通の理解を心掛けた支援を行っております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	4	ペアレント・トレーニングを行うには職員の技術や知識が必要となるため現段階ではできておりませんが送迎時や面談の際などにはできる限り詳しくお話させていただきよう心掛けております。	
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	ご契約時、各書面をお見せしながら利用者負担額支援プログラム等のご説明をさせていただいております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	定期的に面談を設けており、ご家族様とゆっくりお話する機会を設けております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	計画書を見ながら支援内容の説明を行い同意のサインを頂いております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	いつでもご相談くださいとお伝えしており、相談があった際には助言し必要な支援を考え対応させていただいております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4	現時点では支援や保護者会の発足はしておりませんが、ご家族様に要望をお聞きし交流の機会が設けられます。	ご希望されるご家族様を募って保護者会を開催いたします。

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	苦情があった場合には、職員間で周知し話し合い、迅速な対応を心掛けています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	ラインのVOOM機能をつかって活動のムービーや写真を配信し、また月に一度すくすくだよりというおたよりを発行し、活動や行事内容、連絡事項を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	個人情報は鍵付きの書庫にて保管し取り扱いには十分に注意しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	普段の活動のことは送迎時や連絡帳、お電話での対応をさせていただいております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4	地域の方との交流する機会は設けていませんが、ご家族様のご要望があれば前向きに行っていきたいと思っております。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	0	4	全てのマニュアルは職員に周知しております。緊急時、感染症についてはご家族様にお知らせさせていただいております。職員間で訓練や外部の研修にも参加しております。	職員間での話し合いの上、必要なマニュアルの作成を行い訓練も行っていきます。マニュアルはご家族様からの要望があれば開示いたします。避難訓練や研修は定期的に行って参ります
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	0	4	職員は避難救出の訓練は行っております。	ご利用時間帯にも避難訓練を行うようにしていきます。災害時にご利用者様とご家族様の不安が少しでも軽減されるよう訓練し、避難訓練の様子と避難場所をお伝えしていくようにしたいと思っております。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	服薬や発作については定期的に状況を確認させて頂いております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	契約時に必ず食物アレルギーについて書面を記入してもらい職員全体で周知、把握を行っております。	医師の指示書を必要とする食物アレルギーをお持ちのご利用者様は今現在いませんが、命に係わる大切なことなので聞き取り周知を怠らないようにします。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	職員間でも安全には注意し、研修や訓練を行っております。日々適切な職員配置、安全管理のもと支援するよう心掛けている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	ご家族様にはその都度連絡させていただき了承を得ております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	職員全員が対応力や支援への姿勢の改善につながるよう研修をおこなっております。ヒヤリハットの事例の発生は反省するだけでなく、今後の支援に活かすよう考えて向き合うようにする。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	虐待防止チェックリストを職員に実施し研修を行っております。虐待を防止する対応力を職員が身につけていけるよう積極的に研修を行い意識をもって支援を行って参ります。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	職員間で周知し、ご家族様の了承のもと行う。また記録にも残し、計画書にも記載を行っております。	今現在身体拘束を行わないといけなない支援はありませんが、今後発生した場合は保護者様への説明と了承を得たうえで記録に必ず残し、計画にも記載することを怠りません。	